

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム東出雲

作成日: 平成 27年 3月 31日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |  |   |
|----------|------|---|--|---|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容<br>目標達成に要する期間  |
| 1        | 26   | より心地よく暮らすため、本人及び家族も含むチームで、課題やケアのあり方について話し合い、目標の達成に向けたケア提供に向けて、さらなる取り組みを期待したい。理念の実践のためにも体全体を動かすレクリエーションをより意識的に取り入れられることも期待したい。 | 現状に満足することなく、さらにニーズの発掘を行いながら、その人らしく過ごし、運動機能、認知面など、状態が悪化しないよう取り組んでいく。    | 本人との関りを深め、家族の連携をさらに強化するなどし、ニーズの発掘を行いながら、運動面、認知面の各機能を維持向上させ、本人の役割の見出しを行い、その人らしく生活が送れるよう取り組んでいく。<br>3ヶ月 |
| 2        | 45   | 利用者のADL低下に伴い体制の問題が出てくるとも考えられるが、入浴は大切な生活行為であるので、できる限りより良い入浴の提供を期待したい。  | 「生活行為の大切な入浴に」ということに視点を置く置き、現在行っている体制等を再検証し、その人らしい入浴および支援ができるよう取り組んでいく。 | 入浴について、さらにアセスメントを行い、ニーズも発掘に努め、できる限り対応していくよう取り組んでいく。<br>3ヶ月  |
| 3        | 3    | 地域の方をはじめとする視察・見学を随時受け入れている。また事業所での行事にボランティアとして参加してもらおう等、関わりを持っている。地域貢献という点では、前年同様できているとは言い難く、引き続きの課題である。                      | 認知症の専門機関という地域の社会資源のひとつとして、住民や関係者等と連携し、地域の拠点となるよう取り組んでいく。               | 地域での課題、ニーズの把握に努め、より良い住民サービスが行えるよう取り組んでいく。<br>12ヶ月   |
| 4        |      |   |  | ヶ月  |
| 5        |      |   |  | ヶ月  |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。